



決算特別委員会の録画映像は、YouTubeにてご覧いただけます。

平川市議会YouTube
チャンネルはこちら



水木悟志 副委員長

令和6年度の歳入・歳出が適正であったかどうか、全議員で慎重に審査・討論しました。



桑田公憲 委員長



教 育

遊具点検委託料

山谷洋朗 議員

①内容は。

工藤秀一 議員

②点検の結果は。

答弁

①市内各小学校グラウンドの鉄棒、ブランコなどの遊具について、年1回の定期点検を行いました。

点検では、遊具本体の塗装の劣化状況、腐食やゆがみ、破損の有無のほか、遊具周辺の安全確保の状況なども考慮した総合的な判断を行っています。

②計43基ある遊具のうち使用不可と判定されたものが7基ありました。7基のうち3基は基礎部分が露出しており、盛土などの対応で改善可能であったため、既に対応しています。残りの4基は、腐食や亀裂が生じているもので、簡易な対応では改善できないため、現在は使用禁止としており、学校と協議して今後の対応を検討します。



学力検査委託料、知能検査委託料

佐藤 保 議員

内容は。

答弁

学力検査委託料は小学校全児童、中学校1・2年生を対象に、児童生徒一人一人の学力を診断分析し、児童生徒個々の課題を共有し、その解決に向けての指導を行うとともに、教師の指導力改善に活用することを目的に実施しています。実施教科は小学校1～3年生は国語と算数、小学校4～6年生は国語、社会、算数、理科、中学校1・2年生は国語、社会、数学、理科、英語となっています。

知能検査委託料は児童生徒一人一人の知識を認知・記憶・拡散思考・集中思考・評価の能力面から総合的に分析し、得意とする勉強の仕方などを把握することで学習指導に活用するため実施しています。対象児童生徒は小学校2年生と5年生、中学校1年生と3年生になります。



子どもフェスティバルイベント委託料

齋藤律子 議員

①委託先と内容は。

②保護者や家族を含めた参加数は。

答弁

①子どもフェスティバルは5月5日の子どもの日にちなみ、子どもの情操を豊かにすることを目的に、市教育委員会と平川市子ども会育成協議会の共催で文化センターにて、警察・消防車両の乗車体験、地域の子ども会による模擬店などを実施し、約400人の子どもたちが参加しました。委託料はスライムや、バルーンアート製作体験、ジャグリング・ショー実演体験、スラックライン実演体験に支出しています。

②概数で、大人が200人から250人、合計で600人から650人と推量しています。



小野 誠 議員

①支出額が当初予算400万円を大幅に上回った理由は



②東北大会や全国大会への派遣人数は。

③令和5年度と比較し増えた競技は。

答弁

①令和6年度当初予算400万円は前年予算要求額と執行額から今後の総支出額を想定し計上しました。しかし、市内小・中学生の各競技のレベルが向上し、東北大会や全国大会に出場した選手が大幅に増えたことが上回った要因です。

②令和6年度の派遣した競技は軟式野球、ソフトボール、ソフトテニス、空手、サッカー、バドミントン、陸上、ボクシング、新体操、卓球の全10競技。小学生163名、中学生64名、監督等31名の計258名を派遣しています。

③派遣人数が増えた競技は、軟式野球、ソフトテニス、空手、バドミントンです。

私たちのお金はどう使われた？ 令和6年度の収入・支出を一斉チェック！

令和6年度決算審査となる決算特別委員会は、9月12日・16日・17日の3日間開催しました。委員長には桑田公憲議員、副委員長に水木悟志議員が選任され、審査しました。



市の姿勢・まちづくり

職員手当等について

原田 淳 議員

- ①サービス残業はないか。
- ②代休によって対応しているのか。



答弁

- ①時間外勤務は、各部署のそれぞれの課長等の命令・管理のもと実施し、適正に行われていると認識しています。
- ②休日勤務は代休、振替で対応しています。ただし、災害発生時やねぶたまつり等の従事は時間外勤務手当支給で対応しています。

除雪委託料

福士 稔 議員

- ①内訳と国からの補助額は。



葛西勇人 議員

- ②令和6年度の出動回数は。
- ③令和5年度との比較は。



答弁

- ①除雪委託料 5億9,178万9,625円の内訳は、道路などの除雪業務が3億5,245万5,221円、排雪業務が1億8,924万1,140円、その他雪置場管理業務などが5,009万3,264円となっています。国からの補助額については、記録的な豪雪であったことから、国からの社会資本整備総合交付金及び臨時道路事業費補助金合わせて1億5,052万7,000円が国庫補助として交付されています。
- ②昨年度平均の出動回数は、平賀地区26.4回、東部地区60.2回、尾上地区23.5回、碇ヶ関地区34.6回です。
- ③令和5年度は少雪で実働回数自体が少ない。令和3年度から令和5年度にかけて平均3か年の回数は、平賀地区19.1回、東部地区45.9回、尾上地区18.1回、碇ヶ関地区22.8回です。

現年課税分

葛西厚平 議員



- ①前年度比較での減額理由は。

中畠一二美 議員



- ②均等割世帯と非課税世帯の内訳は

答弁

- ①対前年の個人市民税の減収の主な要因は、所得割は令和6年度に実施された定額減税により減少となっています。減税額1億769万6,000円です。また、均等割につきましては、令和6年度から森林環境税として年額1,000円課税され、市民税の均等割が引き下げられたことにより減少となりました。
- ②均等割のみの世帯は1,535世帯、住民税非課税世帯は3,940世帯です。

光熱水費

佐藤 保 議員



- ①内訳は。

齋藤律子 議員



- ②本庁舎分の前年度比較は。

- ③増減の要因は。

答弁

- ①本庁舎の電気料が2,171万9,900円、上下水道料が96万1,196円。旧小国小中学校の電気料が53万8,415円、上下水道料が16万4,593円。旧生きがい拠点施設にある倉庫の電気料が3万1,570円、上下水道料が5万2,824円。駐車場等に設置してある街路灯の電気料が21万1,667円です。
- ②本庁舎の年間電気料は、令和5年度は2,231万6,551円。令和6年度は2,171万9,900円であり、令和5年度と比べ59万6,651円の減、2.7%の減です。年間の上下水道料は令和5年度84万3,889円、令和6年度は96万1,196円です。令和5年度と比較し11万7,307円の増となっています。
- ③電気料は令和5年度に比べ使用量も年間で約2万1,000kWh減少していることから、エアコンなどの節電効果によるものであると考えています。上下水道料は令和5年度に比べ、使用料が236m³増加しているため、使用頻度が増したことが要因と考えています。

印刷製本費

中畠一二美 議員



前年度からの増額理由と内訳は。

答弁

昨年12月1日から運行開始している平川市デマンド交通「のらっさ」に関連し、その乗り方ガイドや乗降ポイントマップの印刷ほか、停留所の表示ステッカーの製作などを行い、昨年度より増となりました。

内訳は、「のらっさ」関連が92万3,758円。そのほか免許自主返納者へ公共交通チケットを配布しており、その印刷費は3万2,978円です。

デザイン制作委託料

葛西勇人 議員



- ①内容は。

- ②委託先の決定方法は。

答弁

- ①昨年12月1日から運行開始している平川市デマンド交通「のらっさ」の認知度向上や利用者増を目的とするロゴを車両や乗降ポイントや乗り方ガイドを活用するため制作を委託するものです。
- ②委託料9万9,000円で、見積り額が10万円以下ということから、10万円未満であれば随意契約ができるため、一者随意契約としています。



福社・医療

脳ドック委託料

石田昭弘 議員

- ①令和5年度、令和6年度の受診者数は。
- ②脳疾患等の予防につながったという事例や成果はあるか。



答弁

- ①令和5年度は48名が受診し、令和6年度は前年度に比べ15名減の33名の方が受診しました。
- ②脳ドック受診者33名のうち要治療者が2名おり、いずれも近隣の医療機関で治療開始を確認しています。次に、要精査者が5名のうち1名に所見が認められました。これらのことから、当該事業が高額な医療費となる脳血管疾患の早期発見及び予防の一助となり、市の医療費抑制につながっているものと考えています。

子育て応援金

中畠一二美 議員

前年度と比べ大幅に増加しているが、その内容は。



答弁

国の事業である子育て応援金に、市単独事業のにこにこBaby応援金を上乗せして支給しています。市の事業である子育て応援金事業は、子どもを出産し、出産後の面談等を受けた養育者に対し、生まれた児童1人につき5万円を支給するものです。

市単独事業であるにこにこBaby応援金は、令和5年度まで実施していた出産祝金の制度を見直し、生まれた児童1人につき第1子から10万円を支給するものです。出産祝金の制度見直しの経過措置として、令和6年度に限り、同制度の支給要件を満たしている場合は30万円を支給しています。

内訳は、令和6年度の支出額のうち、子育て応援金については、出生した児童159人に対し5万円を支給し、795万円となっています。令和5年度の149人と比較して10人増加となったことから、支給額として50万円の増額となっています。

続いて、にこにこBaby応援金については、令和6年4月以降に出生した児童121人に対し10万円を支給し、1,210万円、出産祝金の経過措置分として、24人に対し30万円を支給し720万円、合計で1,930万円となっています。

令和5年度と比較し、子育て応援金分として50万円、新規事業であるにこにこBaby応援金分として1,930万円、合わせて1,980万円の増額となったものです。

尿中アルブミン定量検査委託料

石田昭弘 議員

- ①尿中アルブミン定量検査とは何か。
- ②令和3年度から令和5年度と毎年度少ない状況から、この検査に該当する人は多くないのか。



答弁

- ①尿中アルブミン定量検査は、尿の中のたんぱく質の一種であるアルブミン濃度を測定する検査で、糖尿病性腎症を早期に発見することを目的に行う検査です。
- ②尿中アルブミン定量検査に該当する方の人数は令和6

母子家庭等高等職業訓練促進費

葛西厚平 議員

本事業の目的、訓練する職種、令和6年度の実績は。



答弁

ひとり親の方が看護師や介護福祉士等の資格取得のため、1年以上養成機関で就業する場合に、就業期間中の生活の負担軽減のために給付するものです。課税世帯は月額7万500円、非課税世帯へは月額10万円が支給されます。また、就業の最終年度には月額4万円を加算し支給するほか、就業期間終了後に訓練修了支援給付金が、課税世帯へは2万5,000円、非課税世帯へは5万円が支給されます。

職業訓練の対象職種は、看護師、准看護師、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、美容師、社会福祉士、製菓衛生師、調理師となっています。

令和6年度の支給対象者は、看護師の資格取得を目指す方が1名、准看護師の資格取得を目指す方が2名の計3名で、402万円を支給しています。

診療報酬

齋藤律子 議員

内容は。



答弁

保険診療の医療費のうち、患者が加入する医療保険の保険者が負担するものです。平川診療所は前年度決算額より197万2,534円増の6,062万4,148円、患者数は延べ人数で1万2,187人、前年度比1,064人の増、月平均の患者数は1,016人です。増となった主な要因は、近隣の医療機関の閉院に伴う受診者の増が主な要因であると考えています。また、週1日実施しています整形外科ですが、延べ人数で年839人、前年度比191人の増、月平均患者数は約70人でした。

葛川診療所は、前年度決算額より31万3,833円減の254万1,684円。患者数は、延べ人数で576人、前年度比77人の減、月平均の患者数は48人です。減少要因は、人口の自然減を背景とした患者数の減少であると考えています。

碇ヶ関診療所は、前年度決算額より276万2,292円減の3,849万1,313円。患者数は、延べ人数で6,092人、前年度比299人の減、月平均の患者数は約508人です。減少要因は葛川地区同様、人口減を背景とした患者数の減少であると考えています。また、碇ヶ関診療所では令和7年2月から月2回、整形外科の診療が開始となりました。その整形外科の患者数ですが、2か月の延べ人数は114人、月平均で57人でした。

年度は8人が該当となり、1人は市からの紹介状を利用し検査を受け、5の方は保険診療による検査対象になり、2人は未受診となっています。いずれの方たちにも市の保健師が保健指導として自宅を訪問し、必要な治療が開始されたか確認を行っています。さらに、未受診の方には、治療を行わないことのリスクを説明し、医療機関で検査を受けてもらうよう継続して支援を行っています。令和3年度、令和4年度、令和5年度も同じような状況です。



産業・観光

ひらかわフェスタアトラクション等委託料

福士 稔 議員

内訳と内容は。

答弁

委託料728万2,000円のうち、主なものとして、テント、テーブル、椅子などのレンタル料及び設営料で341万円、令和6年度のイベント、りんご娘やアンパンマンショーなどの出演料で148万5,000円、音響、照明、司会などのイベント運営経費で99万円、各種看板製作料や電気工事経費で77万円、ポスター、チラシ、ラジオCMなどの広告宣伝料で44万円、ごみ処理委託料など、その他諸経費で18万7,000円となっています。



平川ねぷたまつり実行委員会補助金

北山弘光 議員

内訳は。

答弁

主にチラシやポスター、テレビCMなど広告宣伝に係る経費、音響設備や照明機器、仮設トイレ、三角コーンなど会場設営に係る経費、交通規制や迂回路等の予告看板の設置経費、警備業務委託料となっています。



消費者相談広域体制整備負担金

福士 稔 議員

- ①内容は。
- ②どういう相談が多いか。
- ③詐欺などもあるか。

答弁

①当該負担金は、消費生活に関する苦情や相談等に対応する相談員に係る人件費や研修費、維持管理費など、相談窓口の運営に係る経費を協定に基づき負担しているものです。相談窓口については、当市も含めた弘前圏域において消費生活に関する相談を広域的に行い、住民サービスの向上を目指すことを目的に、弘前市のヒロロ3階、弘前市市民生活センターに窓口を集約することで、平成26年2月に協定を締結しています。
現在は、相談員4人を配置して、消費生活に関する苦情、相談等に対応している状況です。

②通信販売に関わるもの、電話勧誘、架空請求などとなっています。

③架空請求の中に詐欺も含まれています。



園地づくり事業補助金について

工藤秀一 議員

- ①果樹経営支援対策事業のうち、高密植、わい化、丸葉、新植、改植について、りんごと桃それぞれの地域別の件数と面積は。



- ②かさ上げの金額は。

答弁

①この改植、新植の樹形ごとの面積及び件数について、市で把握しているのはりんご樹になります。改植について、普通樹の件数と面積は、平賀地域が7件、1万1,281平米、尾上地域が2件、1,764平米。わい化は、平賀地域が14件、1万7,648平米、尾上地域が1件、640平米です。超高密植は、平賀地域が11件、1万6,273平米です。新植について、普通樹の件数と面積は、平賀地域が8件、1万8,831平米です。わい化は、平賀地域が3件、1万3,204平米、尾上地域が2件、6,930平米、碇ヶ関地域が1件、1,956平米です。超高密植は、平賀地域が5件、8,068平米です。メニュー別の件数と金額は、改植が32件で701万9,003円、新植が19件で459万1,735円、排水路整備が39件で661万1,075円、かん水施設整備が9件で95万円、土壤土層改良が10件で173万5,000円、園内道整備が21件で522万円、防風網設置が2件で180万6,249円、防霜ファン設置が1件で58万2,500円となっています。

②かさ上げの金額は2,851万5,562円です。

農業人材マッチング事業補助金について

葛西勇人 議員

- ①予算額に対して決算76万6,000円となっている理由は。



- ②昨年より半額にしたことが大きな原因か。

答弁

①本補助金は、市内農業者の労働力不足の軽減を目的に、就労の動機づけとして、就労時間に応じて求職者に交付するものです。予算額に対して実績が147万4,000円の減となっていますが、交付単価を実質半額に見直したこと、また、交付は初年度限定で、次年度以降は対象外であること、市も使用推奨している民間企業が運営する農業マッチングアプリが普及し始めていることを要因として考えています。

②40時間1万円が80時間1万円と、実質半額になってしまっており、対象となる求職者からみると、少し魅力が落ちたのではないかと考えています。

このような審査を経て、平川市議会は

令和6年度決算を認定しました。